

患者支援センターで取り組んでいる術前介入に参加された患者さんへ

当院では、より良い周術期管理を行うための研究
「当院患者支援センターで新たに取り組んだ術前介入の成果の後方視的研究
—下肢筋力、呼吸機能、禁煙率の向上を指標として—」
を実施しています。

「当院で手術が決まった患者さんのひとりひとりに最も適した術前介入の方法は何か」
を明らかにし、より良い介入方法の選択に役立てることを目的として、東部病院単独で
行っています。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この研究では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、介入前後の症状や、
その後の経過、手術を実施した場合は、いつ手術を実施したかについての記録を集計さ
せていただきます。

研究の対象は、西暦 2019 年 4 月 1 日から 2019 年 11 月 20 日の間に、患者支援センター
で術前介入を受けられた待機的手術患者さんの一部の方です。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して、当院、麻酔科所属、佐藤智行の
ところに集められて解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料
として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される
場合があります。

研究内容の詳細等は、担当医あるいは下記の当院連絡先担当者にお問い合わせください。

この研究にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全く
ありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。
その場合は、2020年5月31日までに、下記担当者にお申し出ください。

研究責任者・連絡先： 済生会横浜市東部病院麻酔科
担当者 佐藤 智行

住所 〒230-0012
横浜市鶴見区下末吉 3-6-1
電話 045-576-3000